

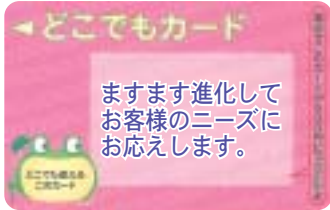
さの商工ニュース

発行所 ▶ 〒327-0027 佐野市大和町2687-1
佐野商工会議所
 TEL(0283)22-5511代
 FAX(0283)22-5517
 毎月1回1日発行 定価50円
(購読料は会費の中に含まれております)
 編集発行人 ▶ 亀田好二
 印刷 ▶ 安蘇印刷株式会社
The SANO
 Chamber of Commerce and Industry

佐野どこでもカードが平成20年3月から新デザインカードに更新になりました!

- ◆満点カードは平成20年5月31日までにお買い物にご使用ください。
- ◆端数カードは平成20年3月〜5月の期間中、マーク1列70円に換算、加盟店にてお買い物券としてご利用ください。

平成20年6月1日の新カードへの完全移行後は、現カードは買い物、イベント参加等、一切ご使用できませんのでご注意ください。



詳しくは各加盟店もしくは事務局へおたずねください。

▲新デザインカード

佐野どこでもカード会 佐野商工会議所内 電話0283-22-5511

最優秀賞(会頭賞) 「早春の朝」 店網一夫氏



優秀賞(観光協会賞) 「春風の中で」矢口スミ子氏



優秀賞(市長賞) 「夏夜の集を焦がす」天谷輝彦氏



優秀賞(文化協会賞) 「里山の秋」日下部勝次氏

第4回写真コンテスト

5/12(月)からイオン佐野新都市SCで写真展開催

佐野商工会議所と佐野市観光協会主催の「I LOVE SANO」写真コンテスト(佐野市など後援)の審査会が三月十日(月)当所大会議室において開催され、最優秀賞・会頭賞に店網一夫さん(植野町)の作品「早春の朝」など、入賞二十一点が決まった。

コンテストは、佐野をもっと好きになれる作品、佐野ならではの風景や風物、催事など地域独自の個性が表現されている作品などを募集。県内外から五十七名一四三点の応募があった。入賞者は次のとおり。
 ▼最優秀賞・会頭賞 店網一夫(植野町)▼優秀賞・観

光協会賞 矢口スミ子(寺中町)▼優秀賞・市長賞 大谷輝彦(館林市)▼優秀賞・文化協会賞 日下部勝次(越前町)▼優秀賞・佐野ケーブルテレビ社長賞 海老沼清一郎(小山市)▼優秀賞・フジカラープロフォトセン

ター賞 島田了(亀井町)▼佳作 越澤清(上台町)、穴原志朗(足利市)、須賀忠吉(田沼町)、宇賀神康男(宇都宮市)、矢島熊夫(大町)、加藤武司(小見町)、青木博(古河市)、渡辺実(小山市)、八下田隆吉(久保町)、榎本文俊(足利市)、須藤兵七(堀米町)、手島常雄(相生町)、八田一男(中町)、田中正子(宇都宮市)、長勝三(植上町)

なお、応募全作品の写真展を五月十二日(月)から十八日(日)までイオン佐野新都市SCで開催。入賞作品の写真展を当所で四月四日(月)まで、佐野市観光物産会館四月七日(月)から五月九日(金)まで。その後、佐野市役所本庁舎や地域交流センター(吉澤美術館横)等で開催する。

お問い合わせは、当所(☎二二一五一一)まで。(阿部)

会員事業所に魅力あるサービスの提供を!!

20年度の重点事業が決定

常議員総会



佐野商工会議所では三月二十七日(木)、当所大会議室において平成十九年度第七回常議員会及び第二回通常議員総会を開催。議員総会では冒頭、亀田会頭が「政府に対する不信感が起こりつつある現状を認識して、皆様と協力して会議所運営をしていきたい。」と挨拶した後、議長に就任した。議案を審議した。
 ①平成十九年度一般会計及び特別会計収支補正予算(案)②佐野商工会議所会館一階の改修工事③平成二十年度事業計画(案)を審議した。
 ③平成二十年度一般会計及び特別会計収支予算(案)について、それぞれ原案どおり承認された。
 最後に、当所四委員会委員長が活動状況を報告した。総会に先立ち行われた常議員会では、就業規則の一部改正、中小企業相談所設置規則の一部改正、理事・事務局局長の退任、理事・事務局局長の選任同意及び新入会員の入会等を承認した。平成二十年度重点事業(二頁に掲載)及び収支予算総括表は別掲のとおり。(阿部)

平成20年度予算総括表

会計別	予算額比較表 (単位:円)			
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(Δ)	前年比(%)
一般会計	148,286,000	220,756,000	Δ72,470,000	67.2%
特別会計				
中小企業相談所	68,636,000	73,955,000	Δ5,319,000	92.8%
会館運営	88,336,000	23,247,000	65,089,000	380.0%
共済事業	40,577,000	40,103,000	474,000	101.2%
労働保険事務組合	5,366,000	5,844,000	Δ478,000	91.8%
小計	202,915,000	143,149,000	59,766,000	141.8%
合計	351,201,000	363,905,000	Δ12,704,000	96.5%

第3回まちなか楽市
 4月20日(日)
 午前9時〜午後3時
 佐野駅舎跡地西側広場

協力事業所 社会保険委員会佐野支部・佐野北支部、佐野商工会議所
 議員 藤沼邦男
 (南藤沼人形本店)
 代表取締役社長

私の名刺には、掛軸と雛と書かれています。雛の話はよく耳にすると、思いますので、佐野絵掛軸の紹介をしたいと思います。
 信州から越後地方で「おかげ」。関東から東北地方で「はまや」と言われている、初正月用祝い物が、佐野絵の掛軸なのです。
 江戸時代の初期を経て平穩の時となり、庶民の道中は浮世絵や弥次喜多道中にみられるようにかなり自由となり「お伊勢詣り」や「京都見物」が流行したといわれています。やがて「東照宮詣り」が加わり、日光、今市、栃木、佐野と例幣使街道天明宿犬伏宿は旅人の往来が盛んとなりました。日光詣りの帰路のお土産に佐野絵掛軸を買い求め配りする風潮ができました。
 弊社の由来、起源は初代の祖父が栃木市において書き残されたものによると、明治五年太政官布告に対し業界代表による真意打診から始まりですが、創業ははつきりしません。明治三十八年現在の天明町常盤町の初代創業を年としています。
 佐野絵の掛軸の最盛期には約五軒の業者合わせて年十数万本生産したそうです。裏日本には根強い天神信仰があり、我が家に伝わる天神様の木像を絵にして生産したところ、評判が良く長野県に遠くまで売れました。これが掛軸と雛と書いている由縁です。



優秀賞(僑野ケーブルテレビ社長賞) 神前に舞う海老沼精一郎氏



優秀賞(フジカラープロフォトセンター賞) 駅前広場 島田了氏



経営者の手帳から